

edish 紹介資料

丸紅株式会社



edishとは

何度でも生まれ変わることができる“**循環型食器**”。

これまでほとんど用途がなかった食品廃材を独自の技術で食器に成型し、飲食店へと提供。

使用後は堆肥や炭に加工し、それにより育てた野菜が再度飲食の場に戻ることで循環。

<3 characteristics>

1. Natural and safe material



2. Various material and design



3. Good durability (water and oil resistance)



小麦ふすま、コーヒーチャフ、
コーヒー粕、茶葉、カカオハ
スク、リンゴ粕、ミカン粕、
モルト粕、竹...
全て成型可能

<ラインナップ>



edish bowl
テイクアウト用丼容器



edish flat
平皿



edish deep
深皿



edish tray
edish bowlに取り付けられる
おかず用トレーのedish



edish アイテム

- edish cutlery
- edish straw
- edish cup
- edish lid
- edish lunch box
- edish small cup

edish 事業の背景：ゴミ処理を取り巻く課題はより大きく

- ゴミは増加の一途（コロナでさらに加速）
- 地方ではゴミ処理費用が深刻化（有料化も）
- 海洋プラスチック問題への関心の高まり
- 年間612万トンの食品ロスが廃棄

レジ袋削減にご協力ください

レジ袋有料化
2020年7月1日
スタート

消費者向け レジ袋有料化お問合せ窓口
0570-080180



経済産業省：

https://www.jpi.or.jp/pdf/200227_keisan01.pdf

新型コロナ情報 [こちらで読めます](#)

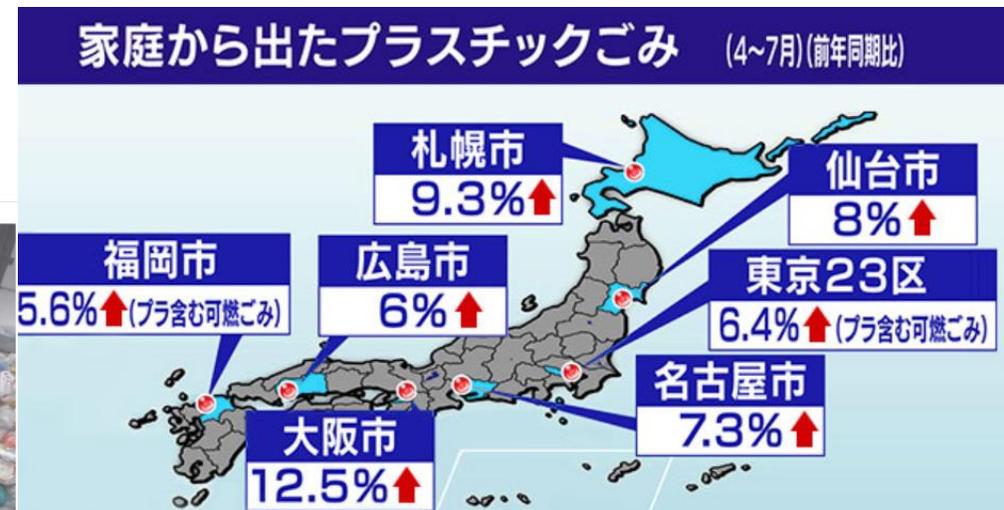
急増するプラごみ 外出自粛が影響？ 自治体に危機感

有料会員記事 新型コロナウイルス
神田明美、水戸部六美、野中良祐 2020年6月13日 11時46分

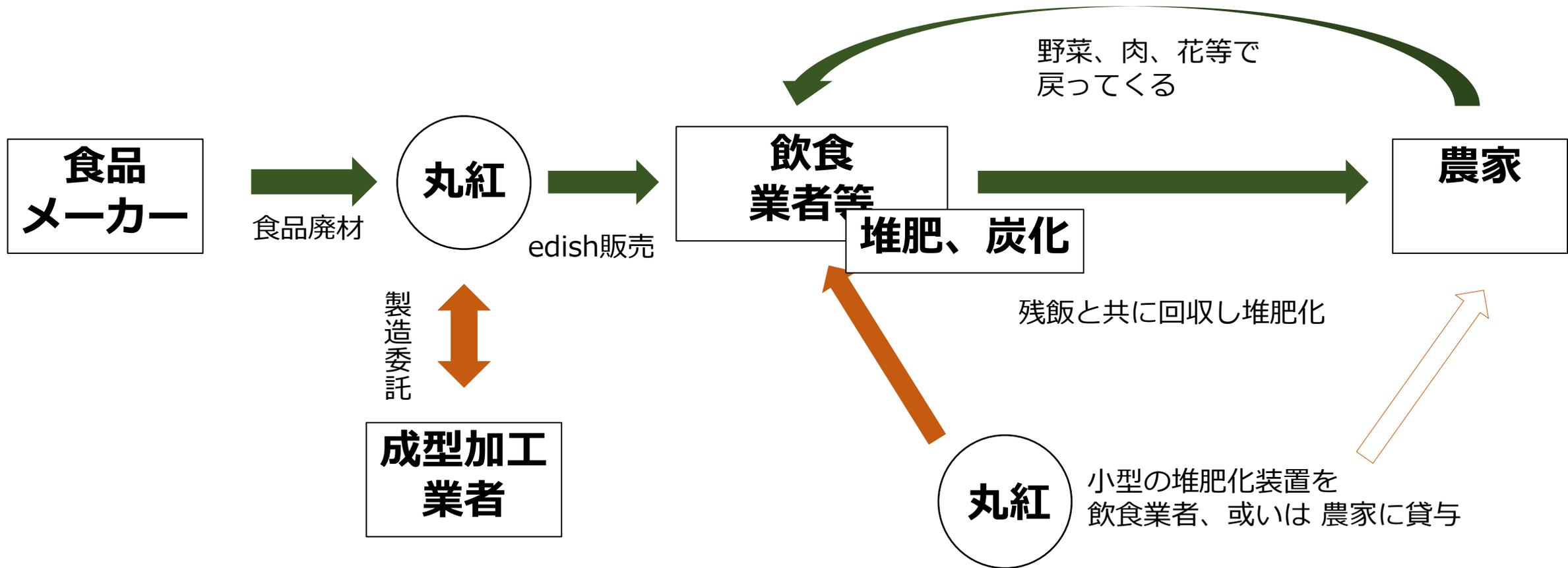
シェア ツイート 111 ブックマーク メール 印刷



リサイクルのため、中間処理施設に運び込まれた使用済み容器包装プラスチックの山=2020年5月22日午後、兵庫県西宮市、細川卓撮影



edish ビジネス概要



edishの事業ビジョン



自分の食事が誰かの食事につながる

Food forward

edishは、食物由来の素材から「生まれ変わって」誕生する。
自然な香りと風合いで、料理のおいしさを引き立てる。
その食器の仕事は、食卓でのおいしい食事で終わらない。
砕かれ、乾燥させられ、飼料や肥料へと再び「生まれ変わる」。
動物に食べられて命を育み、大地に撒かれて作物を育てる。

edishは“使い捨て”でも“再利用”でもありません。

“生まれ変わり”のアップサイクルで、

自分の食事が誰かの食事に繋がる、循環型社会を進めます。

堆肥化に関して

- 葛西臨海公園にて実証実験を行い、実際に堆肥化することが確認できた。



破碎装置



堆肥化装置

破碎後のedish

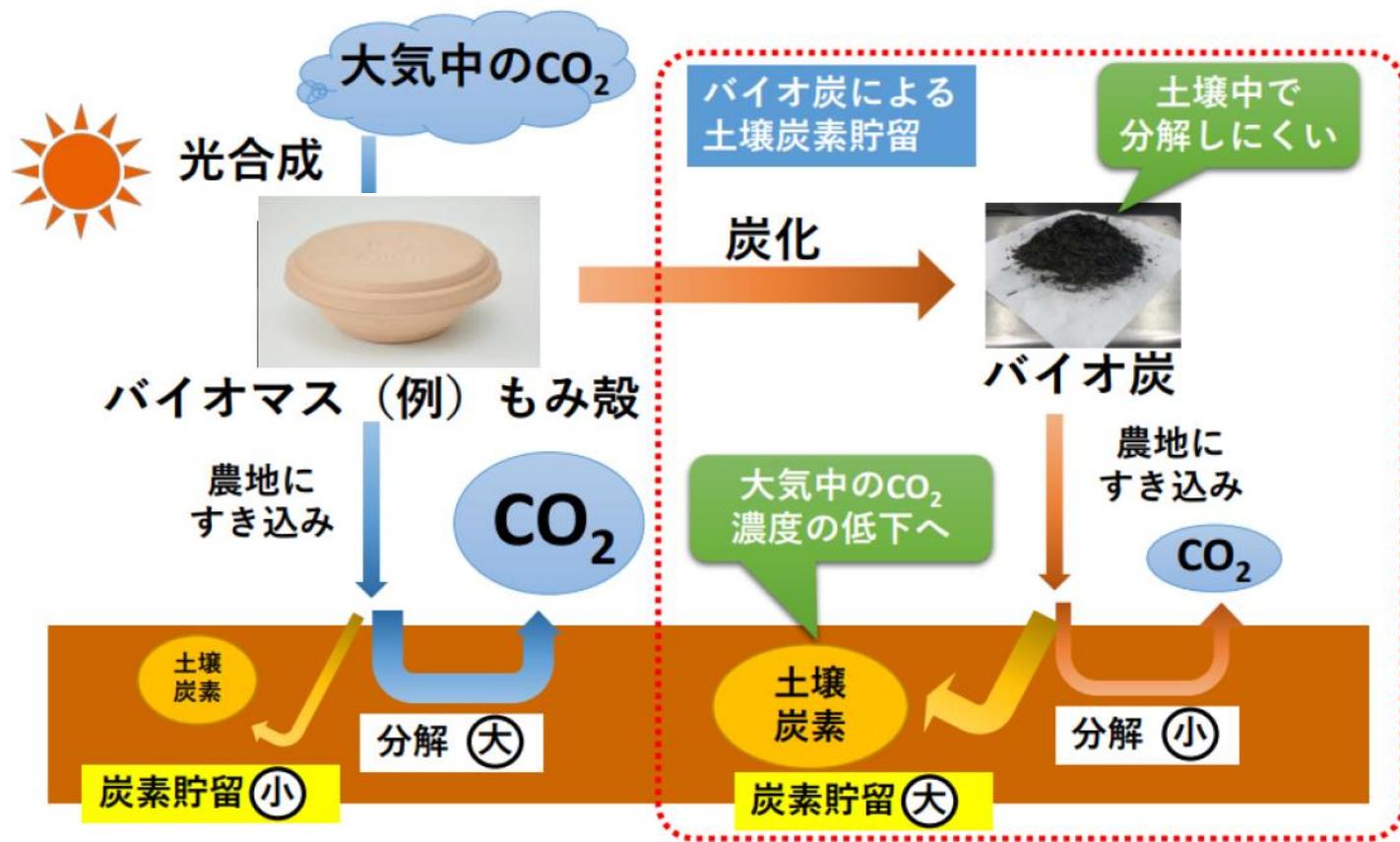


繊維はほぼ分解

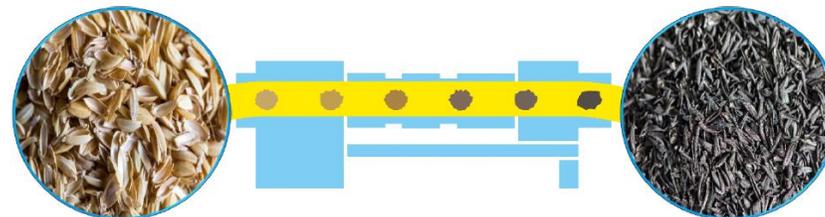


炭化に関して

炭素貯留 バイオ炭（くん炭）にしてからすき込む



例)もみ殻を炭化した際の様子



【特徴】

- 処理原料は1/3～1/4程度に減容
- 燃料と比べ、二酸化炭素排出が少ない
- 処理後に発生するのは、原料由来の炭

【メリット】

- 二酸化炭素排出削減に貢献
- 未利用バイオマスの利活用に繋がる
- 副産物の炭は有価物としても利用可
(オプション：弊社アグリ事業で買取も検討可)
- 農地で炭を利活用する場合は、カーボンクレジット (Jクレジット制度)が適用される

葛西臨海公園での実証実験



① 食べ終わったら



② フタをして



③ 上からつぶす



④ そのまま回収BOXへ

スーパーホテル富士河口湖天然温泉様とのedishによる取組



森と湖の楽園



できた堆肥で農作物を栽培
弁当や朝食の食材として使用



スーパーホテル 河口湖



edishを朝食食器として使用

具体的な取組内容

- ①朝食の食器にedishを使用
- ②ホテル敷地内に設置する堆肥化装置にて食べ残しとedishを堆肥化
- ③ホテル周辺施設・農家にて堆肥を使用
- ④収穫した農作物を食材として使用

ホテル側の狙い

- ①グランドオープン（7月16日）に合わせクローズドリサイクル環境活動の目玉
- ②地域密着型の環境対応企業として広く認知（自治体、農家などとの連携）
- ③食器洗浄関連コストの軽減



クローズドリサイクル
の実現



分解され、堆肥に



堆肥化装置へ



破碎後のedish



堆肥納入予定先で収穫された富士桃

“edish”で再び綺麗な海を【江の島海水浴場で使用したedishの循環フロー】

江の島海の家で使用



回収



アクト・エア社が海の家
(2店舗) から使用済み
edishを回収
※毎週月曜日深夜回収

堆肥化・堆肥生成 (約3カ月間)

一次発酵:

- ・回収後の生ごみを分別、オガ屑・木材チップと混ぜ水分調整。
- ・ヤード内の溝から空気を送り込み一次発酵。その後円形発酵槽へ投入



edish粉碎後 一次発酵 約1ヶ月後

二次発酵:

- ・円形発酵層にて二次発酵 → 発酵物を振るい機にかけ残渣物（ビニール・非有機物等）を除去
- ・販売用の堆肥製品に仕上げ



約3カ月後の様子。
堆肥として製品化前
にふるいにかける為、
異物混入等は無くさ
らさらの状態

農作物を一般消費者へ(予定)

湘南・藤沢で無農薬野菜の直売と食事が楽しめるオーガニックカフェ駅前直売所で調理使用・野菜販売予定



農作物を一般消費者へ
お届け(販売?)
を計画中

生成された堆肥で農作物栽培(なな色の郷)



いわてグルージャ盛岡様とのedishによる取組



edishを使用したブランド堆肥の生産



いわてグルージャ盛岡

具体的な取組内容

- ①スタジアム内での出店にてedishを使用。
- ②使用済edishをスタジアム内で回収。
- ③edishを破砕。
- ④堆肥業者である「うしちゃんふぁーむ」に破砕したedishを持ち込み堆肥化。
- ⑤④で出来た堆肥をブランド堆肥「グルージャのちから」として販売。



うしちゃんファームにて牛糞堆肥の水分調整材として使用



スタジアム内出店におけるedishの使用

地方自治体との取り組み（静岡市）

事例概要

自治体と提携した事例。静岡市役所で食堂を運営している竹酔にedishを提供し市役所職員のお弁当容器として活用。使用済みのedishは回収され、肥料化事業社の大測によって堆肥化される。

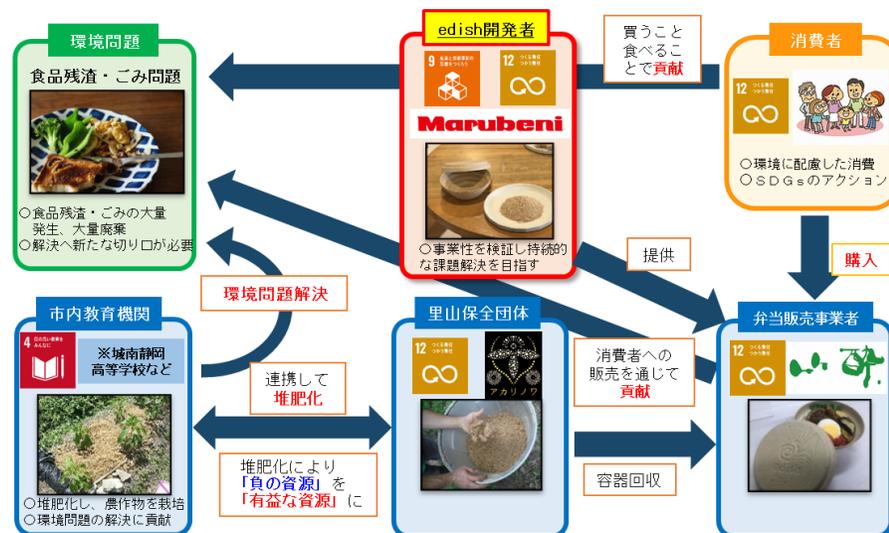
導入効果

- SDGs未来都市・ハブ都市としてのシンボリックケースの創造
- 官民協働による地域密着型循環モデルの構築
- 教育や里山保全など、他テーマへの波及



静岡市役所
午前11時半

循環モデル



ソーシャルプロダクツアワード受賞

ソーシャルプロダクツ賞



ソーシャルプロダクツ・アワード 2021年度 受賞商品・サービス

◆【年度テーマ】
障害者の生きがいや働きがいにつながる商品・サービス

◆【自由テーマ】
生活者が「持続可能な社会」づくりに参加できる商品・サービス

大賞



【年度テーマ】障がい者理解に向けたソーシャルアク



【自由テーマ】TOKYO CORK PROJECT



【自由テーマ】バンブーストロー シリーズ

BALIISM Japan株式会社



【自由テーマ】edish

丸紅株式会社



【自由テーマ】greener nature straws(グリーナー ネイチャーストロー)

株式会社メイベルジャパン



【自由テーマ】okaeri

株式会社ヤマテク